

Minato People's Forest **木** みなと区民の**木**

森を元気にする計画進行中!
みなと区民の森について学ぼう!



もくじ

- 日本の森林について……………P2
- 閻伐材かんばつざいの活用……………P3
- 森林のサイクル(人工林の育て方)……………P4
- 港区の森林保全活動……………P5
- みなと区民の森に行ってみよう!……………P6・7

日本の森林について

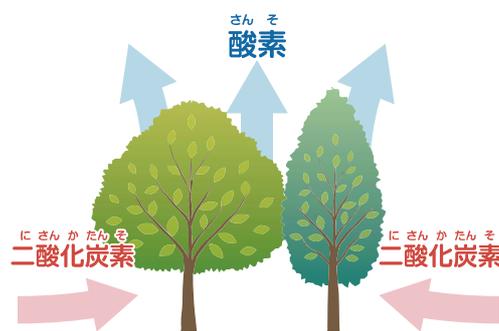
1 日本げんじょうの森林の現状

日本の国土の面積は約3,780万ヘクタール。そのうち森林の面積は約2,510万ヘクタールです。日本は、国土の約2/3が森林おおで覆われている世界有数の森林国です。



2 森林やくわりの役割・働き

- ①雨をためて、水をきれいにしてくれます。
- ②根を張はって、山くずれなどの自然災害さいがひを防いふせでくれます。
- ③たくさんの動物や植物を守り育ててくれます。
- ④成長するときにさんかたんそに二酸化炭素すを吸さんそって、酸素おんだんかを出おさしてくれます。森を育てることは地球温暖化を抑えることにつながります。



3 森林の種類

・天然林は、自然の力で育っている森林です。日本では、主にクスノキやコナラといった広葉樹こうようじゆ（葉っぱが広い木）が多く、木の実が動物のエサになるほか、落ち葉ゆたが豊かな土かんきようをつくるため、生きものが住みやすい環境をつくっています。



・人工林は、木材を生産するために人の手で苗木なえぎを植えて木を育てている森林のことで、「木の畑」とも言えます。日本では、主に成長が早く、まっすぐに育ち、木材に向いているスギやヒノキといった針葉樹しんようじゆ（葉っぱが細い木）が植えられています。



人工林は、下草したくさを刈かったり、枝打ちえだうをするなど人が管理する必要があります。

日本は世界有数の森林大国ですが、木材の多くを値段の安い外国産にたよってきた結果、せっかく育てた木が使われなくなり、管理もされずに荒れたままの人工林が多くなっています。



港区の森林保全活動

「みなと区民の森^{*}」は、人によってスギやヒノキが植えられた人工林です。長い間、「間伐」などの手入れがされず、荒れた森となっていました。

手入れがされていない人工林では、日の光が当たらずエサとなる植物が育たないため動物が住みにくくなったり、木が成長しないため二酸化炭素を十分に吸収できなくなったり、木の根が十分に育たず土をしっかりとつかめないため山くずれなどの災害が起こりやすくなります。

日本の経済の中心地であり多くの人や会社が集まる港区では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素がたくさん出されています。しかし、港区には二酸化炭素を吸収してくれる森がありません。

そこで港区では、地球温暖化を抑えるための取り組みとして、平成19年から東京都西部のあきる野市で約22ヘクタールの人工林を「みなと区民の森^{*}」として間伐や下草刈りなどの手入れをしています。手入れを続けたことで、だんだん森が元気を取り戻しています。

※「みなと区民の森」については、6・7ページで詳しく説明しています。

間伐材の活用

木は空気中の二酸化炭素を吸い、光合成により成長します。また、山から伐り出された後も、二酸化炭素をその中にとどめます。つまり、木材を使うことは、空気中の二酸化炭素を減らすことにつながります。

みなと区民の森の手入れの過程で発生した間伐材も、いろいろなものに活用されています。



みなと区民の森
かんきょうしせつ
環境学習施設
(作業小屋)



かんぼつざい
間伐材で作った演台



区立エコプラザ



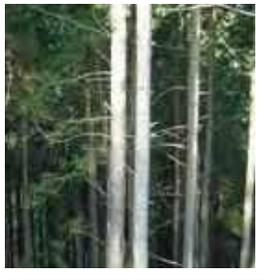
かんぼつざい
間伐材グッズ

森林のサイクル(人工林の育て方)

収穫する

かんばつ 伐

生育のわるい木を伐り、木と木のすき間をほどよく広げる作業です。混み合っている森では、日の光がよく当たらず木が細くなり弱ってしまいますが、間伐を行うことで森の中に十分な光が入り、元気な森によみがえります。



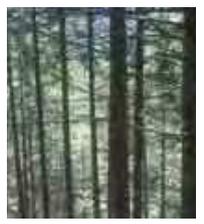
かんばつ 間伐前



かんばつ 間伐後

えだう 枝打ち

太さが同じでまっすぐな使いやすい木材になるよう、あらかじめ枝を幹から伐り落とす作業です。



えだう 枝打ち前



えだう 枝打ち後



えだう 枝打ち中



使う

この伐った木は「間伐材」として、みんなの生活のいろいろな場面に使われているよ。



かんばつ 間伐

えだう 枝打ち

コラム 生物多様性

地球上のあらゆる生きものが、お互いに関わりあひながら生きていることを「生物多様性」といいます。私たちも他のたくさんの生きものとつながり、食べ物や水など、地球上のさまざまな自然や生きものが作り出す恵みを受けて生きている。

みなと区民の森でも、いろいろな生きものたちが関わりあって命を育んでいます。

生態系ピラミッド



もっと詳しく学びたい時は

■木育Webサイト『東



ばっさい 伐採
しゅうかく
 森林の木を収穫（利用）する目的で伐ること。

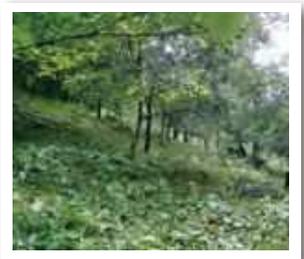


しょくりん 植林
なえ
 木の苗を植えること。

したくさか 下草刈り
 木をよく成長させるために、周囲の草などを刈り払う作業です。



したくさか 下草刈り前



したくさか 下草刈り後

- の123
- 1 ヤマカガシ**
 体の側面に赤と黒の模様が交互にあり、上あごの奥に毒牙を持っているヘビです。池や田んぼなどにおいて、主にカエルをつかまえて食べます。
 - 2 シジウカラ**
 ほほが白く、のどからお腹に黒い筋があります。山林だけではなく、公園でもよく見られます。
 - 3 ヤマアカガエル**
 森林の池や湿地にすむカエルで、「みなと区民の森」では、ビオトープに集まって産卵します。
 - 4 ハンミョウ**
 美しい色模様を持つ虫です。人が林道を歩くと飛んで逃げ、すぐ着地して、人が追いつくと飛んで逃げることをくりかえすので別名「ミチオシ工」とも呼ばれます。
 - 5 タカネトンボ**
 森林に囲まれた暗い水域を好むエトトンボ科のトンボです。ビオトープでオスの縄張り争いやメスの産卵を見ることができま
 - 6 アカシジミ**
 翅の色は橙色で、翅の裏には美しい朱色の模様があります。幼虫はクヌギやコナラの新芽を食べます。

「涼の木・森のしごと」 <http://mokuiku.metro.tokyo.jp/> 東京の森林や林業、木材生産について学べます。

みなと区民の森に行ってみよう！

森が元気になれば、森に住んでいる動物も植物も元気になります。港区は、「みなと区民の森」で自然の大切さを学ぶ環境学習の参加者を定期的に募集しています。ぜひ参加してください。

モミジイチゴ

5月から6月に黄色い実が付きま
す。日当たりのよい場所に群生し
ていて、枝にトゲが生えているの
で注意しましょう。



マタタビ

ほかの木にからみついて長く伸び、
小さな白い花を下向きにつけます。
ネコ科の動物の大好物です。

かんぼつ 間伐体験

お互いの成長を妨げている木々を、
伐採し間引く作業を体験できます。



ヤマメ

川の上流部にすむサケ
科の魚です。体の横の
美しいピンク色の模様
が特徴です。



ハナイカダ

花が葉っぱの上につくこ
とから、葉を筏に見立て
て名前が付けました。



アサヒナカワトンボ

カワトンボ科の細長いトンボで、
刈寄川でよく見られます。オス
は翅が朱色のものと透明なもの
の2タイプがあります。



オオバアサガラ

6月ごろに白い花が垂れ下がって
咲きます。葉の裏側には星の形
の細かい毛が生えています。





登山体験

標高434メートルの山を往復約2時間かけて登山します。



ウスバシロチョウ

シロチョウではなくアゲハチョウの仲間です。翅は半透明で、向うが透けて見えます。サナギの時にまゆをつくる珍しいチョウです。



アズマヒキガエル
森林や川原にすむ大きなカエルです。毒があります。

川魚のつかみどり体験

かりよせがわ 刈寄川でニジマスなどの川魚のつかみどりを体験できます。とった魚はその場で炭火焼きにして食べることができます。



植樹体験

こつようじゅ なえき 広葉樹の苗木を植える体験ができます。



■みなと区民の森 案内図



あきる野市ってどんなところ？

東京の多摩地域西部にある市で、美しい自然を楽しめる秋川渓谷があり、トウモロコシ、のらぼう菜、鮎など美味しい名産品もたくさんあります。また、江戸時代から林業がさかんで、今でもあきる野の豊富な森林資源は多摩産材としていろいろなところで使われています。

あきる野市役所

あきる野市二宮350 電話 042-558-1111

環境について学べる施設にも行ってみよう

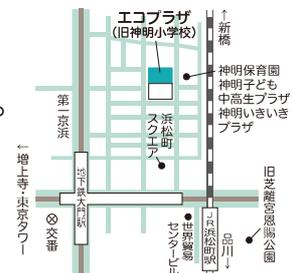
■区立エコプラザ

環境に関する講座やイベント、展示などを行っています。

施設内にある本も自由に見ることができます。

<https://minato-ecoplaza.net>

港区浜松町1-13-1 電話 03-5404-7764



■問い合わせ先

港区環境課地球環境係

港区芝公園1-5-25 電話 03-3578-2495



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。